

色彩工学入門 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2021年9月8日更新)

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
1,2	19	4行目	和式名	和色名
1,2,3,4,5	34	下から 4行目	…分光反射率は波長によらず…	…分光反射率は多くの場合波長によらず…
1,2,3,4,5	74	3.2 4~6行目	測色的観点から…以下の3点である.	測色的観点から修正したため, 修正マンセル表色系とも呼ばれる. マンセル表色系は CIE 標準の光 C(5.3節参照)の下で定義されているため, 他の照明光下での色の見えを正確に表さない(異なる色相間の等明度性が保たれないなど). 特徴は以下の3点である.
1,2,3,4,5	74	3.2 7行目	1.物体色を表現する表色系である	1.物体色(CIE 標準の光 C の下での)を表現する表色系である
1,2	100	下から 4行目	…[Z]軸が直行する…	…[Z]軸が直交する…
1,2	103	式 (3.25)	$\left\{ \begin{array}{l} \dots \\ \dots \\ X = \frac{Z}{y} L = \dots \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \dots \\ \dots \\ Z = \frac{Z}{y} L = \dots \end{array} \right.$
1,2,3	132	例題 4.2 解 3行目	電子が生成される率:	単位時間あたり生成される電子の数
1,2,3	132	例題 4.2 解 4行目	光子が入射する率:	単位時間あたり入射する光子の数
1,2,3	137	例題 4.4 2行目	$i_0 = K \int F(\lambda) \delta(\lambda_0) A \eta(\lambda) \frac{\lambda}{1240} d\lambda$	$i_0 = K \int F(\lambda) \delta(\lambda_0) \boxed{T(\lambda)} A \eta(\lambda) \frac{\lambda}{1240} d\lambda$
1,2,3	137	例題 4.4 5行目	$Q_0 = KF(\lambda_0) A \eta(\lambda_0) \frac{\lambda_0}{1240} t_s$	$Q_0 = KF(\lambda_0) \boxed{T(\lambda_0)} A \eta(\lambda_0) \frac{\lambda_0}{1240} t_s$

1,2,3	140	例題 4.7 解 3行目	$1.6\text{mW}/1.0\text{cm}^2 = 1.6 \times 10^{-3}\text{W}/10 \times 10^{-4}\text{m}^2 = 16\text{W}/\text{m}^2$	$1.6\text{mW}/1.0\text{cm}^2 = 1.6 \times 10^{-3}\text{W}/\boxed{1.0} \times 10^{-4}\text{m}^2 = 16\text{W}/\text{m}^2$
-------	-----	-----------------	--	---